

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	精神障害者・発達障害者の雇用ノウハウの蓄積を図るためのモデル事業		<b>担当部局</b>	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度(開始)・終了年度未定		<b>担当課室</b>	地域就労支援室	地域就労支援室長 金田 弘幸			
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計雇用勘定		<b>政策・施策名</b>	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	精神障害者及び発達障害者(以下「精神障害者等」という。)の雇用及び定着のノウハウを構築し、精神障害者等の雇用促進に対する取組を支援する。さらに、事業を実施した企業からの精神障害者等の雇用及び定着に係る報告をもとに、その好事例やノウハウを他企業に広く周知することにより、精神障害者等の雇用促進の取組の普及に資する。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	精神障害者等を雇用する前段階において必要とされる精神障害者等の障害特性に応じた職域開拓や精神障害者等の従業員に対する支援体制の整備等について、地域、規模、産業等を考慮の上、精神障害者等の雇用促進に取り組む意欲のある企業に委託する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					103	
		繰越し等						
		計					103	
	執行額							
執行率(%)								
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	予算編成過程で検討	成果実績			-	-	-	-
		達成度	%		-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	予算編成過程で検討	活動実績(当初見込み)			-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)	(-)
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	委託費	-	103	-				
	計	-	103					

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、一般の求職者と比して就職が困難である障害者の雇用促進を目的として実施しており、その点において、広く国民ニーズ及び優先度は高い。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、精神障害者等の雇用促進を図っていく方策を検証するために行うものであることから、国で実施すべき。			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	「障害者制度改革の推進のための基本的な方向について(平成22年6月閣議決定)」(精神障害者の雇用義務化・職場における合理的配慮の提供の確保等)に対応するため、必要な支援措置を講ずる必要があることから、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	精神障害者等の従業員に対する支援体制の整備等の必要な経費に限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業は精神障害者等の雇用促進を図ることを目的として、精神障害者等の雇用の経験やノウハウが十分でない企業に委託し、2年間のモデル事業を実施するものであり優先度は高い。また、事業の実施に当たっては、好事例等収集し、幅広く情報提供を行うなど効果的・効率的に執行を行うこととしている。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	本事業は、精神障害者の支援策の充実強化が求められている状況において、精神障害者の雇用経験やノウハウが十分でない企業に対しモデル事業を委託実施する事業であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国

厚生労働省  
103百万円

制度設計及び運用



【予算示達額】  
都道府県労働局(10局)  
103百万円

企画競争、委託契約、精算報告書の審査等



【企画競争・委託】  
A. 民間企業(20社)

精神障害者等の障害特性に応じた職域開拓や精神障害者の

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					